

令和7年11月定例教育委員会議事録

(白石町教育委員会会議規則第16条及び第17条の規定により作成)

- 1 日 時 令和7年11月27日(木) 15時 白石町役場3階(大会議室)
- 2 出席委員 下平教育長 堤 委員 松尾委員 川崎委員 一ノ瀬委員
- 3 事務局職員 久原学校教育課長 鶴田主任指導主事 永石新しい学校づくり課長
矢川生涯学習課長 吉原学校教育課長補佐
川畑新しい学校づくり課長補佐 伊東生涯学習課長補佐
大串指導主事 古川教育総務係長 今福学校教育係長
山口学校給食係長 本山推進係長 定松施設係長
川崎有明公民館係長 柴田主査 溝口主任
- 4 教育長の報告 別紙資料のとおり
- 5 会議に附した議案
附議第31号 令和7年度卒業式の期日について
附議第32号 令和8年度入学式の期日について
附議第33号 12月補正予算について
附議第34号 白石町教育委員会点検評価報告書について
附議第35号 白石町スクールバス条例施行規則の一部を改正する規則について
附議第36号 準要保護の認定について
- 6 動議の提出者 なし
- 7 議事の概要 別紙資料のとおり
- 8 議決事項 附議第31号から附議第36号すべて議決
- 9 その他
 - ・事務局からの報告
 - ・傍聴者 1名

1 開会（久原学校教育課長）

久原課長より定例会の開会が宣言され、前回（10月）の議事録が承認された。

2 教育長報告（下平教育長）

（1）前回以降の主な動向

- ・10/24(金)・コウノトリ命名 披露式
- ・10/30(木)・佐賀県教育委員会表彰式
 - ・文部科学省研究開発学校 研究発表会（春日井市高森台中学校、～31日（金））
- ・10/31(金)・和順（ファスン）中学校（韓国・全羅南道和順郡）交流会
- ・11/9(日)・須古小学校創立150周年記念式典 学習発表
- ・11/11(火)・「AIの活用による英語教育強化授業」公開授業（白石中学校）
- ・11/19(水)・元寇所縁の首長会議及び子どもサミット
- ・11/23(日)・六角小創立150周年記念式典
 - ・有明東小創立150周年記念式典
- ・11/25(火)・第5回白石町総合計画審議会

（2）概要の報告

- ・社会教育委員との懇談会で、通学路における自転車マナーの問題や挨拶習慣の不足が課題として挙げられた。これらは危機管理の観点と関連し、教育現場での対応が求められるとの認識が示された。
- ・教育長は、地域や学校が連携して学びの環境を整えていく重要性を述べた。また、以前勤務経験のある香港日本人学校での火災、避難事例をもとに危機管理教育の重要性を強調した。
- ・令和8年度教育方針について
 - 来年度の計画として、中学校での35人学級導入を進め、中学3年生では少人数学級化の選択肢を提供することが確認された。
 - 通級指導教室の職員配置方法について基礎定数化を定め、地域の実態に応じて配置する方向性が示された。
- ・教員採用試験および人員配置問題
 - 秋選考教員採用試験の応募者数が減少していることが報告された。特に、他自治体の試験に不合格となった者が秋選考で合格する傾向があることから、受験者数増加の方策として成果が求められている。
 - 教員不足や途中退職が課題として挙げられ、勤務条件改善や継続支援が必要とされた。
- ・地元小学校の150周年記念式典について
 - 150周年記念式典等が各学校で開催され、地域と学校の連携が記念事業や文化的な活動を通してさらに強化されているとの報告があった。今後も地域に根ざした教育活動を推進していく方向性が確認された。

3 連絡事項

(1) 問題行動等月別報告について（大串指導主事）

- ・不登校 小学校22名、中学校39名
- ・いじめ 小学校で覚知6件、認知6件、中学校で覚知2件、認知2件

(2) 冬季休業中及びその前後における児童生徒の指導・支援の充実について

- ・冬季休業前後における指導支援の充実

長期休業前後に関する県から配布された啓発資料が紹介された。特に、オンラインゲームに伴う犯罪防止啓発、オンラインカジノについての注意喚起が家庭向け資料として配布される予定。

今後、全家庭への資料配布の準備を進めることが確認された。

(3) 白石町教育支援委員会経過報告（大串指導主事）

- ・特別支援学級および教育支援委員会の経過報告

第2回白石町教育支援委員会が11月6日に実施され、特別支援学級や通級指導教室に入級する児童生徒についての判定が行われた。来年度から新設される有明新小学校では特別支援学級の設置計画が進展し、支援対象児童数が36名になる予定と報告された。

(4) 白石地域新設小学校施設整備について（定松施設係長）

- ・白石地域新設小学校の施設整備計画

小学校新設に伴う地盤改良計画について説明があった。黄色に着色されたグラウンドと青色の調整池は不等沈下防止のために表面改良を行い、校舎等を除く敷地については深層改良を行う。また併せて、周囲の家屋や農地への影響を抑える対策も行うこととしている。

工事スケジュールとして令和8年4月から地盤改良工事を開始し、令和9年秋に校舎建築へ移る。令和11年度には施設完成予定。

用地取得に関しては、現在地権者と協議中であり、12月議会で契約の議案を提出する予定である。この土地取得は、約5ヘクタールの面積となる。

(5) 二十歳のつどいについて（柴田主査）

令和8年1月4日に「二十歳の集い」を開催するとの説明があった。案内状の配布がすでに完了し、参加者への周知が進められている。特に地元の若い世代間交流を目的としており、準備状況は良好である。

(6) 人権フェスティバルについて（柴田主査）

- ・令和7年度白石町人権フェスティバル

「人権フェスティバル」は令和8年2月1日に開催される。その中で多文化共生をテーマとした講演会が予定されている。講師については、未定であり、1月上旬に決定予定との報告があった。

また「令和 8 年度人権カレンダー」が配付されているとの報告があり、委員各位には活用の呼びかけが行われた。

(7) 12月行事予定表（古川教育総務係長）

- ・資料により説明。

(8) 第4次白石町総合計画基本計画素案について

(久原学校教育課長・矢川生涯学習課長)

- ・第5回審議会で議論された総合計画素案について報告があった。理念は「人と大地が潤い輝く豊穡の町」と掲げられ、基本目標として「教育文化の向上」などが定められた。今後もパブリックコメントを経た議論を進める方針が確認された。

・施策23 学校教育の充実

学校再編や不登校問題への対応として心のケアを重点的に進め、教育環境改善と健全育成に注力する必要性が説明された。

成果目標として全国学力学習状況調査の結果を使用し、国語と算数で全国平均に到達することを目指す点が共有された。さらに英語教育状況実施調査における中学3年生のCEFR（セファール）の習熟度A1相当以上の英語力を持つ生徒の割合を全国相当以上に引き上げる方針である。

・施策24 地域全体での子どもの育成

地域・学区・家庭・学校が連携し、豊かで健全な子どもの育成を進めることが提案された。コミュニティスクールの全面導入を進めることが確認され、引き続き教育活動を地域ぐるみで行う計画を進めることとされた。

・施策25 生涯学習の推進

町民の主体性を尊重し、学習講座や図書館を活用した多様な学習環境の整備が必要であるとされた。生涯学習講座の参加者の拡充を図るため、講座内容の見直しを行い、幅広い住民層へのアプローチが求められた。

図書館利用促進については、年間貸出冊数増加を目標とし、町民1人あたりの利用データを用いて政策効果を測定するとされた。

・施策26 スポーツ・レクリエーションの振興

部活動の地域展開をさらに進める方針とし、公認スポーツ指導者の資格取得者数を増やすことで生徒の活動の場の確保を目指す。町内のスポーツ大会参加者数を増加させることを指標とし、具体的な計画を進めることとされた。

・施策27 郷土文化の保存伝承と芸術文化の振興

郷土資料や伝統文化の保存活動を進めることで住民の郷土愛を育む施策について議論が行われた。特に10年後の国史跡指定を目標に保存活用計画が提案され、地域住民との連携を図りながら具体策を進めることとされた。

・施策30 人権啓発の推進

社会情勢の変化に伴い、多文化共生をテーマにした具体的な啓発活動が必要とされ、学校や地域団体での人権教育啓発を進めることが確認された。成果指標として研修会実施数を用いることで進捗を評価するとされた。

4 議事

附議第31号 令和7年度卒業式の期日について（鶴田主任指導主事）

- ・資料により詳細説明。

小学校：令和8年3月13日（金）

中学校：令和8年3月6日（金）

附議第32号 令和8年度入学式の期日について（鶴田主任指導主事）

- ・資料により詳細説明。

小学校（有明小学校以外）：令和8年4月10日（金）午前

有明小学校：令和8年4月15日（水）

中学校：令和8年4月10日（金）午後

附議第33号 12月補正予算について

- ・給食材料費増額補正（山口学校給食係長）

近年の地球温暖化に伴う気温の上昇で、「ひのひかり」から耐候性のある新品種の「ひなたまる」への品種変更が行われたこと、また、価格が従来より大幅に上昇した点が報告された。価格上昇はJAの協力により7,000円まで交渉され、可能な限り抑えた結果であることが説明された。

価格上昇分を補填するため、11月から3月までの給食用米の発注を基準に算出した100万円の補正が提案された。委員からは「物価高を実感している」との意見があり、補正予算案は承認された。なお給食費に関しては令和7年度中は変更を行わずに現状維持とする方向性が共有された。

- ・地域新設小学校施設整備費増額補正（定松施設係長）

白石地域新設小学校の造成工事に必要な補正予算の説明があった。今回、補正の工事請負費について、盛土材の敷き均し、および転圧工事を早めに進める必要がある点が説明された。

増額分として7,000万円の説明をされ、また委託料の不用額5,530万円を減額し、総額1,470万円の増額補正が必要となった。令和12年開校に向けて事業進捗を加速させるために提案することが承認された。

- ・旧有明公民館跡地整備事業について（川崎有明公民館係長）

令和7年3月に閉館した有明公民館の跡地利用に伴う解体工事前準備についての説明があった。今年度中にアスベスト分析調査を進め、令和8年1月から解体設計委託を開始する予定である。事業スケジュールの具体化と進捗状況が共有された。

第3次総合計画で位置づけられた目的との整合性について課題提起があり、「公共施設削減の観点から総合計画内で適切に位置づけるべきではないか」との意見が示された。第4次計画での再検討が必要であることを確認し、企画財政課と協議する方針となった。

附議第34号 白石町教育委員会点検評価報告書について（古川教育総務係長）

評価報告書の概要と主要事業22項目の点検評価について説明が行われた。令和6年度事業についての評価を報告し、報告書については、第1回評価委員会での評価委員の意見を反映して修正したことを共有。

・学校教育支援員配置事業について

点検評価における学校教育支援員配置事業について、配置が児童生徒への支援効果を十分に発揮しているかどうかを評価する必要があるとの意見が示された。

また、支援員の適切な配置計画と評価方法について議論が行われた。支援員の勤務時間や役割については教育委員会が学校長に提示して調整しているが、長期勤務者が増加している現状について、刷新の必要性が強調された。「新しい風を入れながら、柔軟に対応できる支援体制を整備すべき」との意見が出された。

特別支援教育における支援員のシフト調整についての問題も議論され、支援員が学校ごとに最適なシフトで機能するかどうかの検討が求められた。

現在の課題として、長期勤務者の存在が挙げられ、刷新の必要性がある一方で、人手不足の問題から、全面的な交代は困難な状況であるとの意見も出された。そのため、意向調査を通じて意向や配置希望を把握しつつ、刷新を推進するとの説明を行った。これにより適切な配置計画を検討する。

附議第 3 5 号 白石町スクールバス条例施行規則の一部を改正する規則について

(川畑新しい学校づくり課長補佐)

条例施行規則第 2 条第 1 項の削除及びそれに付随する各条項番号等修正について承認。「再編により遠距離通学となった」という表現が福富小学校を含まないとの誤解を招くため、同項全部を削除する。削除後他の条項に影響を与えないことを説明し、これに係る条項番号の整理について説明。

前提として、スクールバス条例の目的が遠隔地から通学する児童生徒の安全確保を目的とすることを再度確認し、今後白石中学校の旧白石中学校区の支援距離を変更する際にも支障が生じるため、「再編により遠距離通学となった」という表現を削除することで、対象地域や距離要件が明確となった。

福富地域については、集団登校が困難な状況が見込まれるためという条件ではなく距離要件「2.5 キロ以上」をスクールバス支援対象とするという認識で一致した。

また、別表の記載に際して、現在の別表については中学校の分であり、整理が必要ではないかとの質問があったが、令和 8 年 4 月 1 日開校の有明地域新設小学校の支援の対象について現在調整を行っているため整理が出来次第再度改正することで了承された。

附議第 3 6 号 準要保護の認定について

下平教育長 白石町教育委員会会議規則第 15 条による秘密会議宣言。

溝口主任 資料により詳細説明 (1 件)

厳正なる審査の結果、認定。

委員全員承認 (附議第 3 6 号)

5 閉会